

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 東京都稲城市立稲城第六中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 所在地 〒206-0824
東京都稲城市若葉台3-1-1
 E-mail inagi6j@educet.plala.or.jp
 Website <http://academic1.plala.or.jp>

児童生徒数 男子 265 名 女子 236 名 合計 501 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について。

1、パラリンピアによる講演会

本校のPTAである「六葉会」の企画により、今年のリオパラリンピック車椅子マラソンで7位に入賞した「洞ノ上浩太」選手が来校、話をいただきました。

オートバイで事故を起こし、足が動かないとの宣告を受け絶望しながらも、知人の薦めにより車椅子マラソンに取り組んだそうです。

パラリンピックに参加したときの話では、競技での試合の駆け引きのことや、ゴールを目前にして、タイヤがパンクしたが気持ちを切り替えパンクを直し、諦めずにゴールに向かったところ、前を走っていた人たちが、パンクやリタイヤで自分が入賞できたこと。などの話をさせていただきました。

最後にレース用の車椅子に乗る体験をさせていただきました。

2、届けよう！「服の力」プロジェクト

ユニクロの小斉原さんを講師に招き、難民の中には着る服も無く困っている方々が多いことなどをお話いただき、生徒は国際問題や環境問題にも関心をもつことができました。

生徒会を中心に、ポスターを作り回収ボックスを作成し、着なくなった服を回収し、リサイクル活動を行い、服を本当に必要としている人のもとへ届けることにより、自分たちにもできる社会貢献があることを学びました。

3、オリンピック・パラリンピック教育

首都大学等級の舛本教授を招き、オリンピック・パラリンピックに関する知識・理解・関心の向上と精神の普及、異文化理解や国際理解、多様性尊重、「おもてなし」やボランティア精神などについて講演をいただきました。

4、六中ふれあいの日

1学年の活動 「地域体験活動」

・うどん作り ・ソーセージ作りとふれあいロード花壇整備 ・ピザ焼とペットボトルロケット作り ・いなぎ歩くマップ、ふれあいの森野外ゲーム
・わらぼうし作り

2学年の活動 「卒業生のはなしを聞こう」

3年前の卒業生に六中での思い出、受験の体験談、現在の高校生活や、進路や将来の夢などの話を聞きました。さらに、中学2年生として今やらなければならないこと、学習の大切さを話してもらいました。

3学年の活動 「稲城の歴史を知る」

縄文時代の石器の黒曜石、塞の神、太平洋戦争で投下された焼夷弾のふたの実物など、縄文から太平洋戦争までの稲城の歴史。今の若葉台地区が自然を生かして作られていることを学びました。

5、ハンセン病の取り組み

図書室にハンセン病関連のコーナーを設ける。ハンセン病の写真パネルを展示した。ハンセン病文学をテーマにしたビブリオバトル本戦に出場した大学生を招いて講演会を実施した。国立ハンセン病資料館見学と多磨全生園散策の学習会を

実施した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）